

# 高齢者用肺炎球菌ワクチン接種

## ～ 接種前の注意事項 ～

肺炎球菌の予防接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、以下の肺炎球菌ワクチンに関する情報を必ずお読みいただいた上で、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。ご高齢の方などでご自身での記入が難しい方が接種を希望されている場合には、健康状態をよく把握しているご家族の方など代理人がご記入ください。なお、接種される方の接種希望確認ができない場合は接種できませんので予めご了承ください。

### ○ 予防接種を受けることが適当でない方

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはいけません。

1. 明らかな発熱を呈している方
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
3. 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
4. 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

### ○ 接種を受ける時に注意を要する方

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、注意して接種しなければいけません。

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな方
2. 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
3. 過去にけいれんの既往のある方
4. 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
5. 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
6. 過去に23価肺炎球菌ワクチンを接種されたことのある方

(過去5年以内に肺炎球菌ワクチンを接種されたことのある方は、本剤の接種により注射した部分が硬くなる、痛む、赤くなるなどの症状が強くなる場合があります。)

### ○ 他のワクチンとの接種間隔について

生ワクチンの接種を受けた方は、通常、27日以上間隔をおいて本剤を接種してください。新型コロナワクチン接種後は原則として13日以上の間隔をおいてください。その他の予防接種との接種間隔の制限はありません。医師が必要と認めた場合には、同時に接種することができます。

